

平成30年度 飛騨市決算報告

飛騨市の平成30年度決算が9月議会において認定されました。

市民の皆さんから納められた税金や国・県からの補助金をどのくらい収入し、どのように使われているか、市の財政状況についてお知らせします。

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	実質収支
一般会計	196億5,460万円	182億836万円	9億6,041万円
特別会計	83億5,090万円	82億839万円	1億4,251万円
企業会計	23億3,733万円	26億1,699万円	29億9,404万円

※企業会計には「実質収支」という考え方がないため、資金の剰余額を記載しています。

■決算の概況
平成30年度の一般会計決算は、前年度に行った大幅な基金再編の反動から表面上決算規模が縮小し、歳入決算額は前年度比4.0%減の196億5千460万円、歳出決算額は同6.5%減の182億836万円となり、歳入歳出差引額は14億4千624万円、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支（決算剰余金）は、前年度比9.0%増の9億6千411万円となりました。

特別会計全体の実質収支は1億4千251万円、企業会計の資金の過不足を示す資金剰余額は、水道事業14億5千474万円、病院事業が15億3千930万円となっており、健全な事業運営となつていきます。

市債現在高（借金）は271億3千416万円（対前年比▲20億9千367万円）、基金現在高（貯金）は151億7千159万円（対前年比▲3億2千990万円）となり、将来を見据えた堅実な財政運営を行っています。

また、財政の健全性を示す財政健全化判断比率は、全ての項目で国の定める健全化基準を下回っており、良好な財政運営であることを示しています。

▼一般会計主な歳入の状況（ ）内は前年比

市税 34億7,523万円

■市民税（+3,775万円）

最低賃金の引上げに係る給与所得の増額や一部市内企業の業績好調による増

■固定資産税（▲1,711万円）

土地・家屋に係る3年に1度の評価替えの影響による減

地方交付税 75億9,683万円

■普通交付税（▲8,212万円）

合併算定替加算額の縮減や個別算定項目の皆減などによる減

■特別交付税（+7,355万円）

昨年7月豪雨災害に関し、その対応に充てるための費用の一部が措置されたことによる増

寄附金 5億9,861万円

■ふるさと納税（+1億625万円）

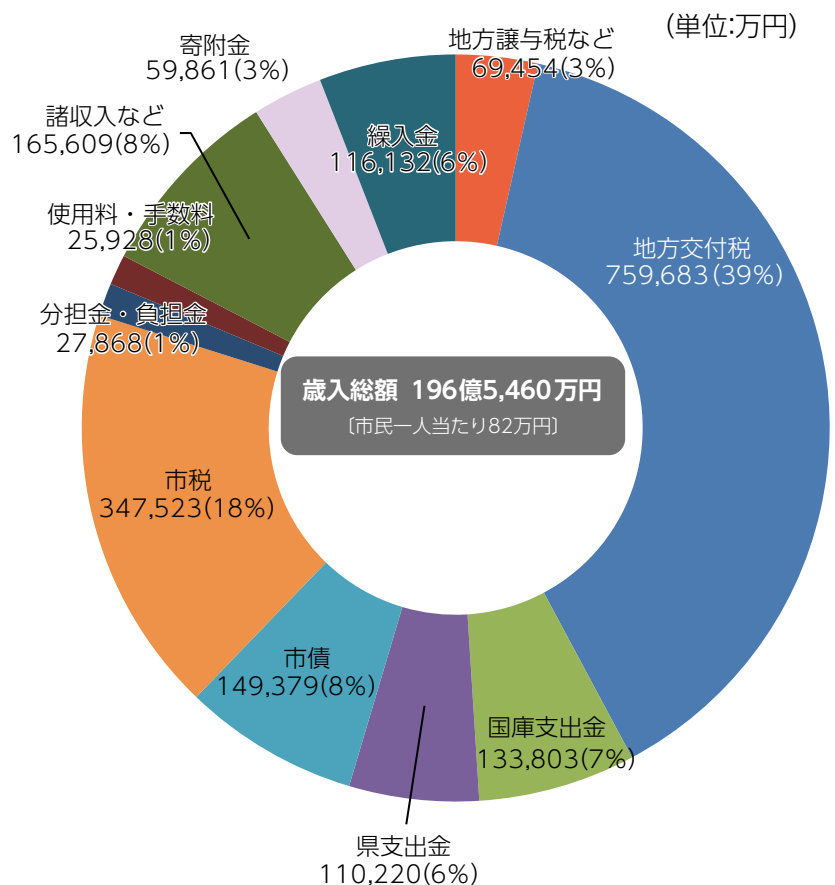
返礼品の数を約2倍に充実させたほか、寄附サイトの種類を増やすなどの工夫をしたことによる寄附額の大幅な増

■企業版ふるさと納税

……………（+1億1,860万円）

カミオカラボの整備にあたり、多くの企業から総額1億3,360万円の寄附をいただきました

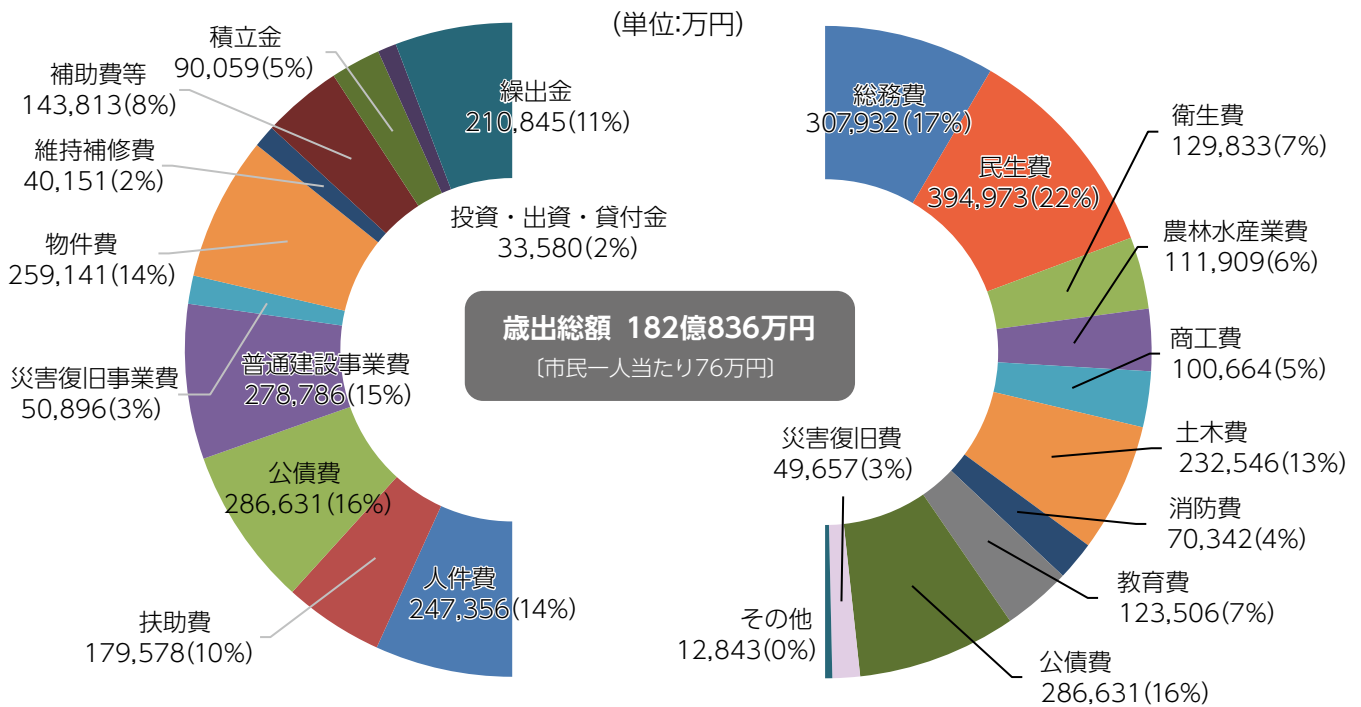
●一般会計歳入の内訳



※表・グラフは表示単位で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。市民一人当たりは、H31.4.1現在の人口で算出しています

● 一般会計歳出（性質別）の内訳

● 一般会計歳出（目的別）の内訳



▼歳出の主な事業

総務費 30億7,932万円

- 防災備蓄品の拡充 …… 3,579万円
- 市営バス等運行事業 …… 1億2,676万円
- 台湾新港郷との交流事業 …… 590万円
- 地域おこし協力隊事業 …… 1,213万円
- カミオカラボ整備事業 …… 3億390万円
- 移住・空家流動化対策事業 …… 1,808万円



商工費 10億664万円

- 池ヶ原湿原遊歩道整備事業 …… 3,500万円
- 飛騨古川まつり会館
バリアフリー改修事業 …… 770万円
- コンベンション推進事業 …… 840万円
- 外国人技能実習生
雇用支援事業 …… 86万円



民生費 39億4,972万円

- 保育所管理運営事業 …… 6億8,191万円
- 保育園エアコン整備事業 …… 931万円
- 買い物弱者支援事業 …… 387万円
- 子どもの居場所づくり事業 …… 324万円
- 医療・介護人材確保対策事業 …… 986万円

農林水産業費 11億1,909万円

- 新規就農者応援事業 …… 2,936万円
- 飛騨牛研修施設整備事業 …… 3,074万円
- 広葉樹のまちづくり推進事業 1,280万円

教育費 12億3,506万円

- 学校給食の提供 …… 1億4,379万円
- 小中学校 ICT 環境整備事業 …… 848万円
- 公民館管理運営事業 …… 6,213万円
- 地域史跡資源活用事業 …… 3,370万円



土木費 23億2,546万円

- 市道除雪事業 …… 3億6,483万円
- 古川祭屋台曳行支障電柱移設事業 …… 933万円
- 街並み環境整備事業 …… 998万円

災害復旧費 4億9,657万円

- 平成30年7月豪雨に伴う土木施設等の災害復旧工事

衛生費 12億9,833万円

- まめとく健康ポイント事業 …… 184万円
- ごみ収集事業 …… 1億4,493万円

● 特別会計の決算状況

会 計 名	歳入決算額	対前年比	歳出決算額	対前年比	実質収支
国民健康保険特別会計	30億1,097万円	▲ 13.9%	29億6,140万円	▲ 11.6%	4,957万円
後期高齢者医療特別会計	3億8,733万円	▲ 0.9%	3億8,306万円	▲ 1.0%	427万円
介護保険特別会計	32億3,685万円	2.4%	31億6,867万円	3.5%	6,818万円
公共下水道事業特別会計	9億1,525万円	▲ 2.2%	9億1,084万円	▲ 2.0%	441万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億6,737万円	▲ 6.2%	1億6,548万円	▲ 6.2%	189万円
農村下水道事業特別会計	3億1,522万円	2.9%	3億1,133万円	3.3%	389万円
個別排水処理施設事業特別会計	1,391万円	▲ 5.0%	1,288万円	▲ 5.1%	103万円
下水道汚泥処理事業特別会計	1億5,111万円	▲ 1.7%	1億5,101万円	▲ 1.7%	1万円
駐車場事業特別会計	753万円	90.1%	712万円	202.7%	41万円
情報施設特別会計	1億728万円	▲ 7.7%	9,903万円	▲ 5.3%	825万円
給食費特別会計	3,408万円	▲ 3.7%	3,348万円	▲ 4.4%	60万円
計	83億5,090万円	▲ 5.1%	82億839万円	▲ 3.7%	1億4,251万円

● 企業会計の決算状況

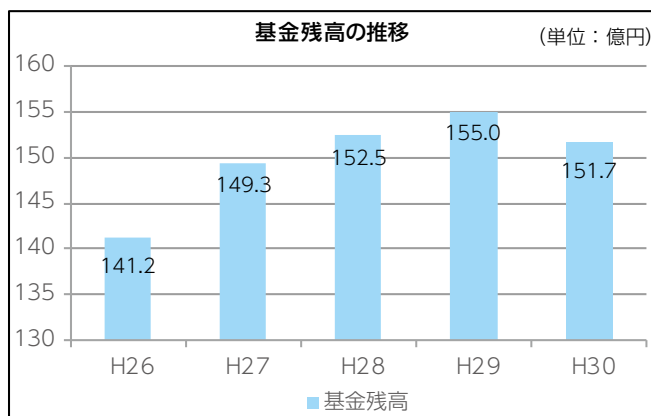
会 計 名	収入決算額	対前年比	支出決算額	対前年比	資金剰余額
水道事業会計（収益的）	5億5,089万円	▲ 2.3%	4億8,678万円	▲ 0.8%	14億5,474万円
水道事業会計（資本的）	4,211万円	▲ 9.7%	2億574万円	▲ 12.5%	
国民健康保険病院事業会計（収益的）	17億1,778万円	1.3%	17億9,126万円	2.4%	15億3,930万円
国民健康保険病院事業会計（資本的）	2,655万円	3.1%	1億3,321万円	23.8%	
計	23億3,733万円	0.3%	26億1,699万円	1.3%	29億9,404万円

● 基金(貯金)の状況

平成30年度は、前年度に創設した公共施設管理基金を活用し、まつり会館の空調機入替工事等、公共施設の計画的な長寿命化対策に1億3,210万円を充てました。

基金残高は、類似団体平均及び近隣団体より高い数値となっていますが、このうち、財政調整基金については、大規模災害などの突発的な事態に対処できるよう今後も60億～65億円を維持する方針です。

区分	基金残高（H29）	基金残高（H30）	増減
財政調整基金	64億9,661万円	63億1,311万円	▲1億8,350万円
その他・特定目的基金	84億8,270万円	83億4,620万円	▲1億3,650万円
運用基金	5億2,218万円	5億1,228万円	▲990万円
計	155億149万円	151億7,159万円	▲3億2,990万円



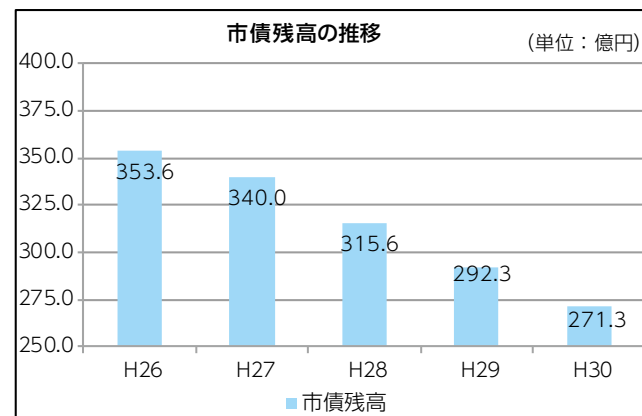
市民一人あたりの基金残高
63万円
前年度から13,700円減少しました。

● 市債(借金)の累積状況

平成30年度末の市債残高は、前年度から20億9,367万円減少し、271億3,416万円となりました。市債残高は平成25年度以降6年連続で減少しています。

今後もプライマリーバランス（市債の借入額と返済額の差額）の黒字を維持し、将来負担の軽減を図る方針です。

区分	市債残高（H29）	市債残高（H30）	増減
一般会計	179億5,082万円	166億8,393万円	▲12億6,689万円
特別会計	97億1,274万円	90億6,276万円	▲6億4,998万円
企業会計	15億6,427万円	13億8,747万円	▲1億7,680万円
計	292億2,783万円	271億3,416万円	▲20億9,367万円



市民一人あたりの市債残高
113万円
前年度から87,100円減少しました。

※数値は万単位であるため、端数処理により計や差引が合わない場合があります。

飛騨市の財政状況について

● 財政健全化判断比率等の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、市の財政状況を判断するための指標を公表します。

平成30年度も全ての項目で国の定める健全化基準を下回っており、財政の健全性が保たれているという結果が示されました。今後も、将来を見据えた堅実な財政運営に取り組みます。

	H30数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.2%	20.0%
連結実質赤字比率	—	18.2%	30.0%
実質公債費比率	13.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	
資金不足比率		経営健全化基準	20.2%

※赤字額や将来負担額がない場合は「—」で表示

団体区分	会計区分	統計区分	財政指標の対象範囲
飛騨市	一般会計	普通会計	実質赤字比率
	特別会計	公営事業	連結実質赤字比率
	うち 公営企業会計	公営事業	実質公債費比率
古川国府給食センター利用組合			将来負担比率
飛騨市土地開発公社など			

● 監査意見総括

本市の財政は、健全傾向が維持されているものの、今後の人口減少に伴う地方交付税の見直しなど依存財源が抑制される傾向にあることが想定される。自主財源確保に向け積極的取り組み、健全かつ公正な財政運営を強く望むものである。

▶意見書を都府市長へ提出する福田幸博代表監査委員と澤史朗議会議長と監査委員



【用語の説明】

市税……………	市民税や固定資産税などに市に納める税金	扶助費……………	児童手当や生活保護、障がい者支援に対する給付など
地方譲与税など……	国税などから一定の基準により地方に配分されるお金	補助費等……………	各種団体に対する補助金や負担金など
地方交付税……………	行政サービス水準確保のため国から交付されるお金	繰出金……………	特別会計の運営に対する一般会計からの支出金など
国庫・県支出金……	特定の事業に対して国や県から交付されるお金	普通建設事業費……	道路や公共施設の整備費用
諸収入など……………	財産の売却や貸付、その他の収入	特別会計……………	特定の事業を行うため、一般会計とは別に設置される会計
繰入金・繰越金……	基金の取り崩し、前年度から繰り越したお金	企業会計……………	地方公営企業法の適用を受け、営利的事業を行う会計
市債……………	公共事業等の財源として国などから借り入れたお金	実質収支……………	歳入歳出の差引額から翌年度に繰り越す一般財源を除いた額
総務費……………	徴税や防災、戸籍など行政運営全般に関する様々なお金	収益的収支……………	企業会計における日々の営業活動に関する経費とその財源
民生費……………	子どもや高齢者、障がい者などの福祉対策に使われたお金	資本的収支……………	企業会計における施設・設備を整備するための経費とその財源
衛生費……………	健康管理やごみ・し尿処理などに使われたお金	実質赤字比率……………	普通会計の赤字額が標準財政規模に占める割合
農林水産業費……	農林水産業の振興に使われたお金	連結実質赤字比率……	全会計の赤字額が標準財政規模に占める割合
商工費……………	民間企業の支援や観光振興に使われたお金	実質公債費比率……	公債費(市債の返済)等が標準財政規模に占める割合
土木費……………	道路や公園などの整備や維持管理に使われたお金	将来負担比率……………	将来負担すべき負債(市債等)が標準財政規模に占める割合
教育費……………	小中学校の運営や文化・スポーツ活動の振興に使われたお金	資金不足比率……………	公営企業の資金不足額が事業規模に占める割合
公債費……………	公共事業等の財源として借り入れたお金(市債)の返済	早期健全化基準……	国が定める財政健全度の注意水準(イエローカード)
人件費……………	市職員の給料・手当、議員・委員報酬など	財政再生基準……………	国が定める財政健全度の危険水準(レッドカード)
物件費……………	臨時職員の賃金、光熱水費、各種委託料など	経営健全化基準……	国が定める経営健全度の注意水準(イエローカード)
維持補修費……………	公共施設の修繕や道路除雪費など		